

受験番号	番
------	---

平成28年度 一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学試験問題
(研究者養成コース・専修コース)

経済学

実施日 平成27年9月10日(木)

試験時間 10:00~12:00

注意事項

- 「解答はじめ」の指示があるまでは問題冊子を開いてはいけない。
- 問題冊子は1冊(本文17ページ)、解答用紙は以下の2種類、下書き用紙は1枚である。
 - 罫線入り解答用紙1枚(白色)
 - マークシート式解答用紙1枚試験開始後直ちに確認し、枚数が異なる場合は挙手のこと。
- 解答用紙・下書き用紙と、問題冊子の表紙に受験番号を記入せよ。氏名を記入してはならない。**
ミクロ・マクロ経済学のみ、マークシート式解答用紙も使用するので、**試験開始後、ミクロ・マクロ経済学を選択した者は、マークシート式解答用紙にも受験番号を記入し、同時に、マーク欄に受験番号をマークすること。**なお用紙は一切持ち帰ってはいけない。
- 問題冊子は、(1)ミクロ・マクロ経済学、(2)政治経済学、(3)統計学・計量経済学、(4)経済史の4科目の合冊である。**任意の1科目を選択**せよ。2科目以上に解答した場合は得点を与えない。
- 試験開始後、選択した科目名を、罫線入り解答用紙の科目欄に明記せよ。所定の位置に科目名の記載がない場合は得点を与えない。
(例)

(科目) 1. ミクロ・マクロ経済学

- 罫線入り解答用紙には、「第2題の間1」などの問題番号も記入した上で、解答すること。
- ミクロ・マクロ経済学の第1題はマークシート式解答用紙に、ミクロ・マクロ経済学のそれ以外の問題は、罫線入り解答用紙に解答すること。その他の科目の解答は、罫線入り解答用紙に解答すること。
- 解答は横書きとする。罫線入り解答用紙は裏面も使用できる。
- 追加の解答用紙は配布しない。ただし書き損じた場合、解答用紙の交換は認めるので、挙手のこと。
- 辞書その他の持ち込みは許可しない。

以上

1. ミクロ・マクロ経済学

*注1

第1題は、全員、回答すること。

第2題、第3題は、いずれか1題を選択すること。2題とも回答した場合は、採点対象としない。

*注2

第1題（問1～問20）は、マークシート解答用紙の①～④のいずれかの解答番号をマークし、第2題もしくは第3題の解答は、罫線入りの解答用紙に記述すること。

第 1 題

以下の問 1～問 20 の各問すべてに解答しなさい。

問1 ある生産者が 2 つの生産要素 x_1 と x_2 を投入することで生産物 y を得ている。生産関数は

$$y = 2x_1^{0.3} + x_2$$

で与えられている。生産要素 x_1 の生産要素 x_2 に対する技術的限界代替率は次のどれか。

- ① $\frac{2x_1^{0.3}}{x_2}$
- ② $\frac{0.6}{x_1^{-0.7}}$
- ③ $0.6x_1^{-0.7}$
- ④ $\frac{x_2}{2x_1^{0.3}}$

問2 ある消費者が財 x_1 と財 x_2 を消費することで効用 $u(x_1, x_2)$ を得ている。効用関数は

$$u(x_1, x_2) = \alpha \ln x_1 + (1 - \alpha) \ln x_2$$

であり、財 x_1 の価格を p_1 、財 x_2 の価格を p_2 、所得を m とする。いま、この消費者は予算制約のもとで効用最大化している。ここで、所得の限界効用は何単位か。

- ① $\frac{1}{m}$
- ② $\left(\frac{\alpha}{p_1}\right)^\alpha \left(\frac{1-\alpha}{p_2}\right)^{1-\alpha}$
- ③ $\frac{\alpha}{x_1}$
- ④ $\alpha x_1^{\alpha-1} x_2^{1-\alpha}$

問3 ある財の市場需要関数が価格を p とした時に

$$D = -p + 70$$

その財を生産する独占企業の費用関数が生産量を x とした時に

$$C = \frac{x^2}{2} + 10x + 200$$

で与えられている。独占による経済厚生への損失はどれだけか？

- ① 50
- ② 100
- ③ 250
- ④ 450

問4 同質な2人の消費者1、2と2つの企業1、2からなる経済を考える。ある財について消費者 $i = 1, 2$ の消費量を x_i とするとき、限界便益は $MB_i = 90 - x_i$ で与えられている。一方、企業 $j = 1, 2$ はこの財を y_j 単位供給しているとき、追加的に1単位これを供給するための限界費用は $MC_j = y_j$ である。この財が純粋公共財であるケースを考える。この財が1単位増えるとき、それを消費することによる追加的な社会的便益は、2人の消費者がそれぞれ受け取る追加的な便益の合計であることに注意すると、社会的余剰が最大になる総生産量は何単位となるか。

- ① 60
- ② 72
- ③ 90
- ④ 108

問5 ある財は完全競争的な市場において取引されており、その需要関数は $D = 1400 - P$ 、供給関数は $S = -200 + P$ で与えられている。ここで D および S はそれぞれ需要量、供給量（単位：台）、 P は価格（単位：万円）を表している。また、この財を消費すると、それに伴って騒音、振動、ガス排出、気温上昇といった外部費用が発生する。 Q 台が利用されたときに生ずる総外部費用 EC （External Cost の略、単位：万円）は、 $EC = Q^2/4$ に上る。この財が追加的に1単位増える時の追加的な社会的便益は、この追加的な1単位の消費から得られる追加的な便益から、この追加的な1単位の消費が発生させる外部費用の増加分を差し引いたものと考えることができる。このとき、社会的余剰が最大になる生産量が実現したときの社会的余剰の大きさは（ア）、市場均衡での社会的余剰の大きさは（イ）である。

- ① ア 288000 イ 270000
- ② ア 270000 イ 144000
- ③ ア 340000 イ 288000
- ④ ア 340000 イ 270000

問6 インターネット上の中古市場においてノートパソコンの品質に関する情報が非対称である状況を考える。取引の時点で供給者だけがその品質を知っているため、市場に供給されたノートパソコンは品質によって区別されず、すべて同じ価格で売られる。中古ノートパソコンの品質は q ($0 \leq q \leq 10$) で表示され、各品質水準のノートパソコンの台数はすべて等しい（品質は一様分布している）。需要者は市場に供給されているノートパソコンの品質の平均値 u しかわからない。価格が p のとき市場需要曲線は、 $d=2000-100p+600u$ と表せる。他方、供給者は自分の手元にあるノートパソコンの品質 q と価格 p を比較して、 $q \leq p$ ならば、そのノートパソコンを市場に供給する。つまり、市場に供給されるパソコンのうち、最も高い品質は p 、最も低い品質は 0 であり、その間で品質が一様分布している。ノートパソコンの市場供給曲線は $s=700p$ ($0 \leq p \leq 10$) (s : 供給量) である。このとき均衡における価格 p はいくらか。

- ① 3
- ② 4
- ③ 5
- ④ 6

問7 二人の同質な消費者がいる交換経済を考える。消費者 $i=1,2$ の効用関数を

$$u^i(x_1, x_2) = x_1^{\frac{2}{3}} x_2^{\frac{1}{3}}$$

と表す。この経済には第1財、第2財がともに10単位ずつ存在する。ワルラス均衡における各消費者への財配分がともに $(x_1, x_2) = (5, 5)$ となるような消費者1の初期保有量はどれか。

- ① (4, 7)
- ② (3, 6)
- ③ (2, 7)
- ④ (2, 8)

問8 2つの企業1, 2からなる産業を考える。両企業は同質な財をそれぞれ x_1 , x_2 ずつ生産する。両企業の費用関数は同一であり、

$$C(x) = 100x$$

とする。その財 $X = x_1 + x_2$ に対する市場需要関数を

$$X = 1000 - p$$

とする。企業1がリーダー、企業2がフォロワーとすると、部分ゲーム完全均衡における企業1の生産量はいくらか。

- ① 225
- ② 300
- ③ 400
- ④ 450

問9 価格弾力性に関する記述として最も適切な選択肢をひとつ選べ。

- ① 密接な代替財があるほど、価格弾力性が大きい。
- ② 需要の所得弾力性が小さいほど、価格弾力性が大きい。
- ③ その財への支出額が所得の大きなシェアを占めるほど、価格弾力性が大きい。
- ④ ①②③のうち正しい記述が2つ以上ある。

問10 A町からB市には毎日1万人が通勤している。通勤から各個人の得る賃金は1日あたり5000円で一定である。通勤には二つの方法がある。一つは私鉄による電車通勤であり、往復300円の電車賃がかかる。もう一つはマイカー通勤であり、A町からB市までの高速道路を利用する。マイカー通勤の場合、ひとり1台ずつ自動車を運転するとしよう。高速道路の通行料金を別にすれば、マイカー通勤の費用は、高速道路を利用する自動車が増えるほど、混雑による通勤時間やガソリン消費量の増加によって、上昇する。N台の自動車が高速道路を通勤で利用するとき、1台あたり $250 + 0.01N$ 円の通勤費用（往復）がかかるとしよう。社会的余剰が最大になるには、マイカー通勤をする人を何人に制限するべきであろうか。

- ① 1000
- ② 2500
- ③ 5000
- ④ 7500

問 11 産業 1 と産業 2 の 2 部門の産業連関表が下記のように与えられている。この時、産業 1 の最終需要が 10、産業 2 の最終需要が 20 増加したとすると、各産業の産出合計の増加分はそれぞれどれ位か。

	産業 1	産業 2	最終需要	国内生産額
産業 1	10	80	10	100
産業 2	50	100	50	200
粗付加価値	40	20		
国内生産額	100	200		

- ① 産業 1 は 28、産業 2 は 38
- ② 産業 1 は 36、産業 2 は 56
- ③ 産業 1 は 44、産業 2 は 74
- ④ 産業 1 は 52、産業 2 は 92

問 12 ある国のマクロ経済は次のような IS-LM モデルで表されているとする。今、名目貨幣供給量は $M^s = 200$ 、財政支出は $G=0$ 、物価水準は $P=1$ とする。そこで、政府が財政支出を 30 増加させた場合、国民所得はいくら増加するか。

$$C = 40 + 0.6Y$$

$$I = 20 - 2r$$

$$Y = C + I + G$$

$$\frac{M}{P} = \frac{Y}{2} + 180 - 5r$$

- ① 18
- ② 30
- ③ 50
- ④ 78

問 13 中央銀行が貨幣供給を拡大させたとする。しかし、企業や家計は中央銀行の行動を予期していたために、同時に期待物価水準も上昇した。短期において産出量と物価水準はどうなるか。

- ① 産出量は増加、物価水準は上昇する。
- ② 産出量は変わらず、物価水準は上昇する。
- ③ 産出量は増加、物価水準は変わらない。
- ④ 産出量は変わらず、物価水準も変わらない。

問 14 中央銀行が貨幣供給を拡大させたとする。しかし、今回は、企業や家計は期待物価水準を変化させなかった。短期において産出量と物価水準はどうなるか。

- ① 産出量は増加、物価水準は上昇する。
- ② 産出量は変わらず、物価水準は上昇する。
- ③ 産出量は増加、物価水準は変わらない。
- ④ 産出量は変わらず、物価水準も変わらない。

問 15 マクロ経済の生産関数がヒックス中立型技術進歩を含むコブ・ダグラス型生産関数で与えられている。産出量の成長率が 2%、資本成長率が 3%、労働成長率が 1%、労働分配率が 0.7 の時、技術進歩率(%)の値として、正しいものはどれか。

- ① -2
- ② 0
- ③ 0.4
- ④ 1.6

問 16 国際通貨制度の「トリレンマ」とは何か。以下間違った記述を 1 つ選びなさい。

- ① 完全な国際資本移動の下、国内景気循環平準化の目的で金融政策を運営するためには、変動為替レート制を採用せざるを得ない。
- ② 完全な国際資本移動の下、為替レート安定化のため固定為替レート制を採用する際、国内景気循環平準化のために金融政策を運用できない。
- ③ 変動為替レート制の下、国内景気循環平準化の目的で金融政策を運用するためには、国際資本移動を適宜規制する必要がある。
- ④ 変動為替レート制と国内金融政策の自律性は、完全な国際資本市場の下でのみ達成される。

問 17 「購買力平価」とは何か。以下間違った記述を1つ選びなさい。

- ① 2つの異なった国内地域において、同一財は同一価格を持つ。
- ② 2つの異なった国内地域において、同一の消費バスケットの単位価格は同一である。
- ③ 2つの異なった国において、同一の消費バスケットの同一通貨建の単位価格は同一である。
- ④ 購買力平価の下、「実質為替レート」は1である。

問 18 以下のルーカス供給曲線について考える。

$$y_t = y_n + \theta(m_t - E_{t-1}m_t)$$

ここで y_t は t 期の産出量、 y_n は完全雇用産出量、 m_t は t 期の貨幣供給量、 θ はパラメーター、 E_{t-1} は $t-1$ 期の情報に基づく合理的期待である。貨幣供給量 m_t は以下のフィードバックルールに従い中央銀行が決定する。

$$m_t = \alpha y_{t-1} + \varepsilon_t$$

ここで y_{t-1} は $t-1$ 期の産出量、 α は政策パラメーター、 ε_t は t 期における裁量的金融政策を表すサプライズであり、 $t-1$ 期以前の情報集合には含まれていない。以下正しい記述を1つ選べ。

- ① 産出量が完全雇用水準を下回る時、中央銀行は政策パラメーター α を上げ完全雇用水準を回復することができる。
- ② 産出量が完全雇用水準を下回る時、中央銀行は政策パラメーター θ を上げ完全雇用水準を回復することができる。
- ③ 中央銀行の裁量的金融政策が、産出量を完全雇用水準から乖離させ景気循環を産み出す。
- ④ 産出量はその1期前の値に依存する。

問 19 ある家計の 2 期間消費選択問題を考える。この家計は第 1 期に所得 Y_1 を、第 2 期に所得 Y_2 をそれぞれ得る。また金融市場において利子率 r の下、望むだけ貸し借りできるとする。家計は以下のオイラー方程式が示すように、消費を異時点間で完全に平準化する。

$$C_1 = C_2$$

ここで C_1 と C_2 はそれぞれ第 1 期と第 2 期の消費である。このとき所得が恒久的に一定額増加したと仮定する。以下間違った記述を 1 つ選べ。

- ① 恒久的な所得の増分だけ第 1 期の貯蓄は増加する。
- ② 恒久的な所得の増分だけ第 1 期の消費は増加する。
- ③ 第 1 期の貯蓄は変化しない。
- ④ 恒久的な所得の増分だけ第 2 期の消費は増加する。

問 20 信用創造乗数（貨幣乗数）を考える。ここで cd は現金・預金比率、 rr は法定準備率を表す。市中銀行は超過準備を預金に対し比例的に持ち、超過準備・預金比率を er とする。信用創造乗数が 1 より大きくなる条件は何か。以下の内 1 つ選べ。

- ① $cd > 1$
- ② $rr + er < 1$
- ③ $rr + er = 1$
- ④ $rr + er > 1$

第2題

次の定理には顕示選好理論の考え方が表されている(Varian (2005)より引用)。

以下非公開



- (a) $x^j = (y^j, z^j)$ としたうえで、上記の1の条件を y - z 平面で図示せよ。
- (b) “utility function $u(x)$ that rationalizes the data” とはどういうことか説明せよ。
- (c) ここで、ミクロ経済学を学び始めたばかりの学生が定理を読み、自分にもほんとうに効用関数がそなわっているのかどうか疑問に思ったとしよう。そしてその学生は、まして他の消費者について、そんなあいまいな効用関数を分析したとしても意味がないように思えてきた。
この誤解をとき、顕示選好理論および顕示選好アプローチを擁護せよ。

出所：

Varian, H. (2005) *Revealed Preference*,

(Available at <http://people.ischool.berkeley.edu/~hal/Papers/2005/revpref.pdf>)

第3題

以下非公開

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

出所：

Eggertsson, Gauti B., Paul Krugman, (2012) “Debt, deleveraging, and the liquidity trap: A Fisher-Minsky-Koo approach” *The Quarterly Journal of Economics*, 1469-1513.

2. 政治経済学

次の問(1)から問(4)のうち、2問を選択して解答しなさい。
(解答の冒頭に、選択した問題の番号を明記すること。)

問(1)

マルクス (K. Marx) の経済学における剰余価値論と労働賃金論との関係について論じなさい。

問(2)

商品の生産価格 (prices of production) とは何かを説明し、生産価格と現実の市場価格との関係について論じなさい。

問(3)

経済学の分野では、社会的に望ましくない事象が発生する原因を、「市場の失敗」 (market failure) , 「政府の失敗」 (government failure) , さらに近年では「制度の失敗」 (institutional failure) として説明されることが多い。

以下の設問に答えなさい。

- (1) 「市場の失敗」とはどういうことか。具体的事例を挙げて、簡潔に説明しなさい。
- (2) 「政府の失敗」とはどういうことか。具体的事例を挙げて、簡潔に説明しなさい。
- (3) 「制度の失敗」とはどういうことか。具体的事例を挙げて、簡潔に説明しなさい。

問(4)

旧社会主義国の体制転換に際して、ワシントン・コンセンサスに準拠した制度改革が提唱された。このことが移行経済諸国 (の移行過程) に与えた影響について、旧社会主義国の制度を勘案し社会保障制度の側面から論評せよ。

統計学・計量経済学

第1題 以下の用語説明問題6問の中から4問選択し答えよ。

1. p 値について, 正規分布の平均の t 検定を例にとり, t 検定も合わせて説明せよ.
2. 同時方程式モデルの識別性について説明せよ.
3. $AR(p)$ モデルとユールウォーカー推定量について説明せよ.
4. 2部門かつ輸出入なしの場合を例に, 産業連関表について説明せよ.
5. 線形回帰分析における不均一分散の定義, その問題と解決策について説明せよ.
6. 線形回帰分析における構造変化の検定について説明せよ.

第2題 以下の3問の中から1問だけ選択し答えよ。

1. 以下の統計学関係の問題 (a) から (b) のすべてに答えよ。いずれの問題においても導出過程は省略しないこと。

(a) X_1, \dots, X_n は互いに独立に, 以下の密度関数を持つ確率分布に従うものとする。 λ は正とする。

$$\frac{1}{\lambda} \exp\left(-\frac{x-\theta}{\lambda}\right) \quad (x \geq \theta)$$

(i) 尤度関数を最大化することをきちんと示しながら, θ と λ の最尤推定量 $\hat{\theta}$ と $\hat{\lambda}$ を求めなさい。

(ii) $\hat{\theta}$ の期待値を求めなさい。

(b) 一次元の確率変数列, $\{X_n\}$ と $\{Y_n\}$ について, $X_n \xrightarrow{d} X$ (X はある確率変数) かつ $X_n - Y_n \xrightarrow{p} 0$ であるとする。ここで \xrightarrow{d} は分布収束, \xrightarrow{p} は確率収束を意味する。このとき, $Y_n \xrightarrow{d} X$ を証明しなさい。(ヒント) 分布関数には不連続点は可算無限個(数え上げができる)しかない。

2. 以下の計量経済学関係の問題 (a) から (d) のすべてに答えよ。
次の回帰モデルの推定を考える。

$$Y_i = \beta_1 + \beta_2 X_i^* + u_i, \quad i = 1, 2, \dots, n \quad (1)$$

Y_i は被説明変数, X_i^* は確率的な説明変数, u_i は X_i^* と独立な誤差項, $\beta_1, \beta_2 \neq 0$ は回帰係数である. データ収集時の測定誤差 (観測エラー) の影響のために, X_i^* は観測できないとする. ただし, X_i^* に測定誤差 ε_i を伴った以下の X_i は観測できるとする.

$$X_i = X_i^* + \varepsilon_i, \quad i = 1, 2, \dots, n \quad (2)$$

測定誤差 ε_i は (X_i^*, u_i) と独立な確率変数とする. $E(\varepsilon_i) = 0, V(\varepsilon_i) = \sigma_\varepsilon^2$ かつ $E(u_i) = 0, V(u_i) = \sigma_u^2$ と仮定する. そして $\{(X_i^*, u_i, \varepsilon_i)\}_{i=1}^n$ は, i について独立に同一分布に従う確率変数列とする.

(a) Y_i を X_i に単回帰したときの X_i の係数の最小二乗推定量 $\hat{\beta}_2$ が β_2 の一致推定量でないことを証明せよ (最小二乗推定量の導出過程は省略してもよい). ただし, 大数の法則のための正則条件は満たされていると仮定する.

(b) 操作変数 Z_i が存在すると仮定する. モーメント条件

$$\sum_{i=1}^n (Y_i - \hat{\beta}_1 - \hat{\beta}_2 X_i) = 0, \quad \sum_{i=1}^n (Y_i - \hat{\beta}_1 - \hat{\beta}_2 X_i) Z_i = 0 \quad (3)$$

を解くことにより, β_2 の操作変数推定量 $\hat{\beta}_2$ を求めよ.

(c) $\hat{\beta}_2$ が β_2 の一致推定量であることを証明せよ. ただし, $\{(X_i^*, Z_i, u_i, \varepsilon_i)\}_{i=1}^n$ は i.i.d. な確率変数列, $Cov(Z_i, X_i^*) = \sigma_{ZX} \neq 0, E(Z_i \varepsilon_i) = E(Z_i u_i) = 0$, 大数の法則のための正則条件は満たされていると仮定する.

(d) 実際には, Z_i も次の形で測定誤差を含んでいたとする.

$$Z_i = Z_i^* + \eta_i \quad (4)$$

η_i は $(X_i^*, Z_i^*, u_i, \varepsilon_i)$ と独立かつ $E(\eta_i) = 0, V(\eta_i) = \sigma_\eta^2$ を満たす測定誤差, Z_i^* は $Cov(Z_i^*, X_i^*) \neq 0, E(Z_i^* \varepsilon_i) = E(Z_i^* u_i) = 0$ を満たす真の操作変数である. このとき, (b) の $\hat{\beta}_2$ が β_2 に対する一致性をもつか否かを理由とともに答えよ.

3. 以下のファイナンス関係の問題 (a) と (b) の両方に答えよ.

(a) 株式 $S = \{S_i\}_{i=0,1}$ と債券 $B = \{B_i\}_{i=0,1}$ の 2 項 1 期間モデルを考える. $-1 < d < r < u$ として, $i = 0$ から $i = 1$ の変動が

$$S_1 = \begin{cases} (1+u)S_0 & (\text{株価が上がる}), \\ (1+d)S_0 & (\text{株価が下がる}), \end{cases}$$

$$B_1 = (1+r)B_0,$$

で与えられるとする. ただし, S_0, B_0, r は正とする.

- (i) この設定の下で, 行使価格 $K (> 0)$ のヨーロピアンコールオプションのデルタの式を書け. 導出の過程も記せ.
- (ii) この設定の下で, プットコールパリティの式を書け. 導出の過程も記せ.
- (b) $T > 0, n \in \mathbf{N}, S_0 > 0, K > 0$ として, $\Delta t = T/n$ とする. 独立に同一分布に従う確率変数列 $\{X_i\}_{i=1}^n$ が, 以下の確率分布を持つとする.

$$P(X_i = (1 + r\Delta t)e^{\sigma\sqrt{\Delta t}}) = \frac{1 - e^{-\sigma\sqrt{\Delta t}}}{e^{\sigma\sqrt{\Delta t}} - e^{-\sigma\sqrt{\Delta t}}},$$

$$P(X_i = (1 + r\Delta t)e^{-\sigma\sqrt{\Delta t}}) = 1 - \frac{1 - e^{-\sigma\sqrt{\Delta t}}}{e^{\sigma\sqrt{\Delta t}} - e^{-\sigma\sqrt{\Delta t}}}, \quad i = 1, \dots, n.$$

ただし, r, σ は正とする. このとき,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} E \left[(1 + r\Delta t)^{-n} \max \left\{ K - S_0 \prod_{i=1}^n X_i, 0 \right\} \right]$$

を標準正規分布の分布関数 $\Phi(\cdot)$ を用いて表せ. 導出の過程も記せ.

(ヒント) 確率変数 $Y_n, n = 1, 2, \dots$ を $Y_n := (1 + r\Delta t)^{-n} \prod_{i=1}^n X_i$ とすると, $Y_n, n = 1, 2, \dots$ は, 正規分布に関連する確率変数 Y に分布収束する.

4. 経済史

下記の問題 1、2、3 から任意の 2 題を選択して、それぞれ別紙に解答しなさい（解答文は日本語、英語のいずれでもよい）。

なお、解答文の冒頭に問題番号（1、2、3）を明記すること。

第 1 題

あなたが関心を寄せる国（地域）をとりあげ、近代的な港の建設がその国（地域）の経済発展にどのような影響を与えたのかを、史実に即して具体的に論じなさい。

第 2 題

前近代的地代から近代的土地課税への移行過程について、任意の国（地域）をとりあげて論じなさい。その際に、この過程が農業経営および農村社会に及ぼした影響について触れること。

第 3 題

近代以降の工業化の過程において、金融制度（金融機関も含む）の発達がどのような意義を有していたのか、具体的な国（地域）をとりあげて説明しなさい。

■